

「応援を力に」

成田レッドソックス



ぼくたち成田レッドソックスは野球のスポーツ少年団です。小学3〜6年生の計20人で土・日曜日に成田小学校のグラウンドで練習をしています。チームメートの多くは成田小学校に通っていますが、ほかの学校に通うチームメートもいます。

練習中は元気で大きな声を出すことを心掛けています。守備位置に分かれてノックを受けるときには「こーい」「シヨート」などの大きな声が飛び交います。これはノッカーに向けて発したり、打球の落下するポジションを指示したりする声です。声を出すと気合いが入って打球に集中できます。また、ポジションの指示で、フライを譲り合って落球してしまうことなども防げます。

成田レッドソックスは来年でチームができてから40年を迎えます。長い歴史の中で多くの卒団生が、臨時コーチとして応援に来てくれるのがチームの伝統です。その中には大学や社会人野球でプレーした人もいて、ぼくたちにバッティングや守備のアドバイスをしてくれます。

お父さん、お母さんたちも練習場まで送り迎えをしてくれたり、お昼のお弁当を作ってくれたりして応援してくれます。チームメイトみんなでお弁当を食べる時間も楽しみの一つです。

今年初めての大会は3月に行われる春季大



中村 建太 キャプテン(6年生)

親から勧められて成田レッドソックスに入団しました。野球が大好きになって、たくさんの方の友達もできました。

会。6年生は2月で卒団して、新チームとして初めての大会になります。いつも応援してくれる監督・コーチや家族のためにも一戦一戦を一生懸命に頑張ります。



守備は素早く正確に

OBのコーチからアドバイスを受ける



一筆一筆しなやかに

わたしたち「墨の会なでしこ」は、毎月第4金曜日に加良部公民館で「墨絵」を楽しんでいるサークルです。メンバーは女性12人で、指導は増谷秀竹先生ますたにしゅうたけにお願いしています。

わたしたちが描く墨絵は、墨の濃淡だけで描く水墨画と違い、墨に「顔彩がんさい」という日本画用の絵の具を混ぜ合わせ、色を取り入れたものです。墨と顔彩の融合が淡く渋みのある色を作り出し、絵に油絵や水彩画とも異なる特有の味わいを与えます。

墨絵を描く上で欠かせないのは、筆使いの練習。しなやかな筆使いでしっかりとした線を引きこことで、絵が引き締まります。そのためには手首の力を抜いて描くことがポイント。上から下、左から右と何度も線を描く練習を重ね、書道用紙に描く



先生の実技指導に注目

ときに文鎮で重しをする必要がなくなるほど、しなやかな筆使いを身に付けます。描く題材は、その時々季節を感じられる草花や鳥、

墨の会なでしこ



宝船と青竹を描いた墨絵を手に

自然の風景など。昨年12月には、書道用紙に宝船と青竹を題材に描いた作品を表装して自宅に飾りお正月を迎えました。

わたしたちは書道用紙のほかに、色紙や短冊などにも描きます。自宅の居間や和室などに作品を飾り、日常のふとした瞬間に目にする心が和んだりします。興味を持った人がいましたら、ぜひ一緒に墨絵を楽しんでみませんか。



茨澤 鉄心くん(11ヶ月)加良部

いつもとっても元気です。優しくて強い子になってね。



篠崎 来夢大くん(5歳・左)川栗 彩葉ちゃん(1歳・右)

空手を習っている兄のまねを楽しそうにする、仲の良いきょうだいです。



小貫 璃久くん(1歳)中台

お姉ちゃんが大好きでいつも後をついていきます。これからもきょうだい仲良しでいてネ♥

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの一枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503